



二大 中だより

江東区立第二大島中学校
令和8年6月1日発行
第3号
<https://2dai-chu.koto.ed.jp>

わたしのいもうと

校長 西田 明史

《全校朝礼講話より》

運動会が終わり定期考査2週間前となりました。二大魂二大中で、「学び、考え、行動する」を意識して「授業集中・納得追究」の姿勢で臨んでください。

さて、6月は「ふれあい月間」「いじめ防止強化月間」となっています。2・3年生には昨年も伝えましたが、いじめが発生したとき、多くの場合、その構造は四層になります。第一層は被害者、一人の場合が多いです。第二層は加害者、複数であることが多いです。第三層は観衆、直接いじめには関わりませんが、面白がって見ている人たちです。第四層は傍観者、「触らぬ神に祟りなし」といった考えで、下手に関わるよりも知らないふりをした方がよいと思う人たちです。第一層の被害者が、自ら声を上げるのは難しい現実があります。第四層の人たちが、いじめを自分のこととしてとらえ、「やめなよ」と声を発したり、「嫌なことがあったね」と言って被害者に寄り添ったり、大人に相談したりすることが、いじめ解決のカギとなります。

ふれあい月間に合わせ、松谷みよ子さんが書いた「わたしのいもうと」という絵本の読み聞かせをします。松谷さんのもとに「わたしのいもうとの、話を聞いてください…」という一通の手紙が届いたことがきっかけで、この絵本は作られました。

この子は
わたしの いもうと
むこうを むいたまま
ふりむいて くれないので
いもうとのはなし
きいてください
いまから 七年まえ
わたしたちは この町に
ひっこしてきました
トラックに のせてもらって
ふざけたり はしゃいだり
アイスキャンディを なめたりしながら
いもうとは 小学校四年生でした
けれど てんこうした学校で
あの おそろしい いじめが
はじまりました
ことばが おかしいと わらわれ
とびばこが できないと いじめられ

クラスの はじさらしと ののしられ
くさい ふたと いわれ
— ちっとも きたない子じゃないのに
いもうとが きゅうしよくを くばると
うけとって くれれない ということです……
(略)
ある日 いもうとは
ひっそりと しにました
つるを てのひらにすくって
花といっしょに いれました
いもうとのはなしは
これだけです
わたしを いじめたひとたちは
もう わたしを
わすれて しまったでしょうね
あそびたかったのに
べんきょうしたかったのに

いじめは、どんな理由があっても許されるものではありません。されている方が嫌だと感じたら「いじめ」になるのです。二大中の教職員は、いじめを絶対に認めません。いじめで傷つく人を、決して一人にしません。困っている人がいたら、必ず守ります。「二大魂」、誰とでも、「助け合い、協力する」を行動指針として、いじめのない二大中にしていきましょう。